

令和3年度第1回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和3年5月26日（水）13：00～14：09

場 所：千葉経済大学 大会議室

出席者：

1	佐久間 勝彦	理事長・大学学長・短期大学部学長・高校校長
2	佐久間 美羊	副理事長・准教授
3	小滝 敏之	常任理事・特任教授
4	横山 洋子	こども学科長・教授・評議員
5	飯島 一生	高校副校長・評議員
6	山口 博	法人事務局長・大学・短期大学部事務局長・理事・評議員
7	小針 美由紀	高校教頭・評議員
8	堀井 満美	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
9	鈴木 真理子	千葉経済大学父母の会会長・評議員
10	今井 一夫	千葉経済大学短期大学部同窓会会長・評議員
11	荻野 忍	千葉経済大学附属高等学校父母の会会長・評議員
12	畠山 一雄	(学)畠山学園理事長・評議員
13	影山 美佐子	ビジネスライフ学科長・教授・評議員
14	山田 清實	元伊藤忠エネクス取締役会長・評議員
15	山口 和夫	(株)さつま屋社長・評議員
16	石渡 哲彦	(株)ちばぎん総合研究所顧問・評議員
17	佐久間 道子	評議員
18	栗沢 尚志	大学経済学科長・教授・評議員
19	藤代 謙二	評議員
20	積田 悟	前高校副校長・評議員
21	嶋田 和雄	(株)グランドアール取締役・評議員
22	青柳 俊一	(株)千葉興業銀行会長・学園監事
23	植松 省自	税理士法人京葉会計事務所代表社員・学園監事

1. 開会のあいさつ

2. 理事長あいさつ

議題

【1】令和2年度事業報告について

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添1「学校法人千葉経済学園令和2年度事業報告書」に基づき、法人の概要、事業の概要について説明がなされた。

事業の概要

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」及び校是・校訓に基づき、教育の質の確保・向上を図り、良識と創意に満ちた感性豊かな人材の育成の実現に向けて教育研究を推進した。

コロナ禍のなか徹底した新型コロナウイルス感染拡大防止対策を図り、学園の発展を期するために、学生・生徒数の確保と徹底したコスト抑制を行い、財務体質の健全化を図りつつ、教育環境の整備を行った。

令和2年度に実施した事業の主な内容は次のとおりである。

[千葉経済学園]

(1) 建学の精神の啓蒙

建学の精神「片手に論語 片手に算盤」について、「今月の論語」の教室掲示や総合図書館の「論語コーナー」設置等の多様な取組みを通じて周知徹底を図った。

(2) 大学・短期大学・高校の三者連携推進

「千葉経済学園三者連携会議」を軸に、ビジネス教育、入試、進路、広報、学生生徒の諸活動等にわたって三者間の密なる機能連携を図った。

(3) 学園情報環境の整備とデータベース化

学園サーバ並びに大学と高校のネットワーク・スイッチを更新した。また、学園全部門の文書資料の体系化とデジタル化及びデータベース化を図るため、新たなシステムの導入に着手した。

(4) ボランティア活動の推進

千葉経済学園ボランティアセンターにおいて、コロナ禍において安全に対応できるボランティア活動を企画し、学生生徒のボランティア活動を推進した。

具体的には、本学と相互連携協定を締結している千葉都市モノレール社の千葉駅構内に、医療従事者に対する感謝の気持ちを伝える横断幕を2張制作・掲出するとともに、九州地方豪雨災害募金活動、歳末たすけあい募金活動などを実施した。

オリンピック・パラリンピックの大会ボランティアは、開催が延期されたため活動は中断することとなった。

(5) 資格取得奨励

大学・短期大学・高校のそれぞれにおいて各種検定・資格試験の合格を奨励し、高度の資格取得者には奨励金を授与した（延べ人数で大学 10 名、短期大学 18 名、高校 34 名）。

(6) 防災備蓄の整備

大学・短期大学・高校の学生・生徒・教職員用に非常用食料や毛布等の防災用品を計画的に備蓄し、災害時に備えた。

(7) 働き方改革関連法への対応

職員の労働時間の短縮、その他の労働条件の改善や雇用形態の異なる職員間の均衡の取れた待遇を確保し得るよう関連諸規程を見直した。

(8) 教職員の感染予防の徹底

学生・生徒と接して教育活動に従事する教職員が、平素より体調管理に留意できる職場環境の整備（サーマルカメラ・消毒液・アクリル板の配置、フェイスシールド・マウスシールドの配布等）に努め、新型コロナウイルス感染症の感染予防に徹底して取り組んだ。

(9) 感染症対策による授業運営

新型コロナウイルス第一波による緊急事態宣言発出時には、授業開始時期を変更し、課題の送付（高校）、マイクロソフト 365 を使用した遠隔授業の実施（大学・短期大学）等の授業運営を行った。また、「eラーニング支援交付金」として、大学・短期大学学生一人当たり 5 万円、「家庭学習奨励金」として高校生一人当たり 1 万 5 千円を給付した。

面接授業開始後も、感染拡大の状況に応じて、時差登校、時間短縮等を行い、マスク着用、3密の回避、換気の徹底の他、サーマルカメラの導入、校舎の入口と各教室に消毒液配置、消毒に留意した清掃の実施等を行った。

(10) 地域との連携について

- ①「ちば産学官連携プラットフォーム」協定締結 3 年目となり、他大学・短期大学と更に連携して学生募集・教育活動・就職支援・生涯学習・地域支援の推進を図った。
- ②「千葉都市モノレール株式会社との相互連携協定」締結 3 年目となり、同社から講師招聘を行い、モノレールと千葉市動物公園の連携した魅力の発信として学生が制作したポスター展示を行った。
- ③「千葉市稲毛区役所との相互連携協定」及び「千葉県文化振興財団との相互連携協定」

が締結 2 年目となり、それぞれの特徴や資源を活用しながら情報発信、同区役所での職場体験による教育・人材育成など、各方面での連携を図った。

- ④令和 2 年 1 月に学園と株式会社千葉ジェッツふなばしとの間で「オフィシャルサプライヤー契約」が締結されたことを踏まえて、千葉ジェッツふなばしから講師招聘、高校バスケットボール部との交流練習等について連携協力を行った。また、総合図書館では企画展示を行った。

[千葉経済大学附属高等学校]

(1) 普通科及び情報処理科の定員変更

情報処理科（定員 80 名）への志願者増に鑑み、令和 3 年度入学生から普通科 320 名、情報処理科 120 名に定員を変更することが私学審議会でも可とされて、令和 3 年度入試（1 月 17 日・2 月 15 日）を新定員のもとで実施した。

(2) 教育環境の整備

- ① 新校舎全体の照明器具を LED 照明に更新する計画としたが、「家庭学習奨励金」等の生徒への支援を優先させるため、令和 3 年度実施に変更した。
- ② 特進クラスに無線 LAN 環境を整備する計画は、令和 3 年度に実施することとした。パソコン教室（1 教室）のパソコン 41 台は最新の機器に更新した。

(3) 学力向上のための授業内容の充実

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、授業運営に多くの制限が生じた。

特にグループ学習など、生徒同士が意見を発表し合う様な活動ができないため、対話的な学習内容は制約を受けたが、各教科とも学習形態を工夫し年間指導計画の内容を終了することができた。また、臨時休業時のオンライン授業や、今後の ICT 教育の充実のためマイクロソフト 365 を導入した。

(4) 特進クラスの教育充実と大学進学実績の向上

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、総合型・学校推薦型（含 指定校推薦）受験で確実性を求める傾向が強かったため、大学入学共通テストや一般選抜では特筆すべき実績が出なかった。今後は、特進クラスを中心に多様化する受験に対する対策に取り組んでいく。

(5) 専門科教育の充実

専門科の目標とする資格取得において、簿記 3 級合格率は、商業科 91%・情報処理科 78%であった。また、その他の各種資格においても取得率が 80%を上回っている。高度資

格についても、IT パスポートに 16 名合格、日商簿記検定 2 級に 2 名合格など実績を残した。

(6) 新学習指導要領への移行準備

令和 4 年度の次期学習指導要領への移行にむけ、教育課程の編成をほぼ完了することができた。

(7) 部活動の振興

新型コロナウイルス感染症の影響で、高体連および高野連の主催大会はほとんどが中止となった。平常の活動そのものも、感染防止のため自粛や活動内容の制限などをうけ、感染予防の徹底を図りながら活動を続けた。

(8) 定員確保のための生徒募集活動の遂行

新型コロナウイルス感染症の影響で、オープンキャンパスをはじめとする広報活動が実施できない状況であったが、入試広報室を中心に全職員で生徒募集にあたり、定員を上回る 609 名の新入生を確保することができた。

(9) いじめ及び体罰の防止

いじめについては、教員相互の協力のもと早期発見に努め、深刻となるような問題は発生しなかった。

(10) 教員研修の充実

新型コロナウイルス感染症の状況のもと、校内における研修のみ実施した。

【2】令和 2 年度決算について

- ① 議長の指名により、石井 伸 会計課課長代理から、令和 2 年度決算について別添 2 「令和 2 年度 学校法人計算書」に基づき、資金収支決算額、事業活動収支決算額及び令和 3 年 3 月 31 日現在の貸借対照表について説明が行われた。
- ② 続いて、議長から本決算に関する意見を求めたところ、青柳 俊一 監事から、青柳 俊一、植松 省自 両監事より提出された監査報告書（資料 1）に基づき学園の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことが認められた旨報告がなされた。

【3】千葉経済大学附属高等学校の学則一部改正について

議長の指名により、山口 博 法人事務局長から、別添6「千葉経済大学附属高等学校学則の一部改正（案）」、別表「学則変更条項新旧対照表」に基づき、学習指導要領の改訂に伴い、令和4年度入学生からは年次進行によりすべての教科・科目等において教育課程（カリキュラム）の内容を全面変更実施することとされているため普通科、商業科、情報処理科教育課程を訂正することの説明が行われた。

【4】その他（報告事項等）

議長の指名により、飯島 一生 高等学校副校長より高等学校の近況報告についての報告があった。

昨年度は入学式、始業式も出来ず大変な思いをしましたが、今年度は午前・午後の2部制で入学式も無事実施できました。609名の新入生を迎え4月から平常で始めています。昨年は学校行事や対外的な部活動等の活動全てが中止で、大変閉塞感のある1年間でしたが、今年度は文部科学省からも学校行事や部活動等も感染対策をしっかりとした上で出来る限り実施して良いとなっております。

この春の高体連の大会も無事に、一部の部活が関東大会へコマを進めることができました。また、学校行事も6月の1週目に例年実施している陸上競技会も感染予防対策をしっかりと実施して、県のスポーツセンターで実施する予定です。1年数か月ぶりの全校での催しです。やっと学校生活の先が見えて来たと言うことですが、まだまだ、感染予防対策は必要になりますが、その中、できる限りの活動が出来るようにして行きたいと思っています。

「満足度調査結果」ですが、令和3年3月に行った調査です。満足度が72.4%と例年と変わらない満足度です。このグラフの波形も、ほぼ例年と同様で非常に円満な人間関係を生徒達は築いていると言う結果がでています。

・意見

コロナ禍において、いろいろ大変だと思いますが引き続き感染防止対策に万全を尽くして、生徒が安心して通えるようにしてほしいという意見が出された。